

いくぶん



第20号 2015.10.23

菊花の候、皆様方にはご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は育児文化研究センターの活動につきまして温かいご指導・ご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

高田短期大学育児文化研究センターは三重の子育てを考え、三重の子育て環境の改善に貢献することをめざした地域開放・地域連携の機関として、平成16年の開設より育児文化研究と事業活動に取り組んでまいりました。

今年度の事業はこれまでの活動を継承しながらも、取り組みの評価・課題や子育て環境の現状も踏まえて計画を策定し進めております。5年目となりました地域開放事業「おやこひろば たかたん」は、ゆったりとした雰囲気の中で、親子がふれあいを深め、遊びやかかわりの中で親も子ども「気づき」のもてる見守りや言葉かけ、環境設定の工夫に努めております。さらに、保育者養成校の中にある広場としてボランティア学生とのかかわりが参加親子さんにも、学生にとっても有意義な場となるための支援を心がけています。その様子の一部を紹介いたします。また、地域啓発事業としては下記にご案内のとおり大豆生田啓友先生に『いまどきの保育・子育てで大切なこと』をテーマに講演いただきます。保育者・子育て支援関係者や子育てに関心のある多くの方のご参加をお待ちしております。その他のセンター事業の進捗報告もご覧の上、ご意見等お寄せいただければ幸いです。

本年4月には「子ども・子育て支援新制度」がスタートいたしました。津市の子育て支援者の交流や研修、親支援等の事業をサポートさせていただく中で、多様化する保育・子育ての支援をより良きものにしていくためには、行政とともに地域の子育て関係者が意識と連携を深めることが重要であると考えます。地域の保育・子育てに貢献できる短期大学のセンターとして情報収集と情報発信、研究および事業活動に努めてまいります。今後とも、育児文化研究センターにご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

育児文化研究センター長 鷺見裕子

高田短期大学 育児文化研究センター
大豆生田啓友先生 講演会
いまどきの保育・子育てで大切なこと

平成27年
12月12日(土)
高田短期大学 講堂

講演者 大豆生田 啓友先生
プロフィール
社会活動
講演内容
参加対象者
入場無料
申し込み
TEL: 059-232-6317
E-mail: ikubunkouza@takada-jc.ac.jp

高田短期大学
三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会

講演会のご案内

大豆生田啓友先生 講演会

いまどきの保育・子育てで大切なこと

12月12日(土)

高田短期大学 講堂 先着300名

●講演会
13:30~15:00(開場13:00)

入場無料

参加対象者

- ・保育園・幼稚園・子育て支援関係者
 - ・保育に関心のある学生(高校生も含む)
 - ・子育てに関心のある一般の方
 - ・子育て中の保護者の方
- ※託児はありません

※申込等、詳しくはチラシをご覧ください。

おやこひろば たかたん

27年度

環境設定は、子育て支援の場において、最も欠かせない準備のうちの一つとなります。
ひろばでは、親子にホッとする時間を過ごしてもらえるように、次のような環境設定を心がけています。

*壁面を通して、日本の昔話や外国の名作に触れる機会をつくる。

- ・壁面の内容と誕生児紹介のときのお話を関連させる。
- ・親子がお話の展開や変化に気づけるように、半月をかけて仕上げる。
- ・親子で作った制作物を壁面の一部として取り入れる。
- ・ちぎり絵や壁面の土台など緻密な作業の際には、ボランティア学生にも参加させる。



*リズム体操により、曲に合わせて身体を動かす楽しさを親子で味わってもらう。

- ・0～1歳児向け、2～3歳児向けのリズム体操を毎月各1曲ずつ計画。
- ・前月の体操と重ねて実践。年間24曲。



*ジョイントマットの敷き方を工夫する。

- ・マットの色を活かして迷路や形を作り、面白さを伝える。
- ・ボランティア学生にも敷き方を考案させ、保育における環境設定の大切さに気付かせる。

*自然に触れる機会や、関心を持つことができるようにする。

- ・季節の花や野菜に関心を持てるように、窓越しに見ることのできる植物を育てる(つる性植物)。

*季節の歌や唱歌など、保護者が歌を口ずさむ楽しさを子どもに伝えられるようにする。

- ・子どもの歌や手遊び歌に加え、古くから歌い継がれてきた季節の歌や唱歌など、年間100曲近くを選曲。



*ひろば内での保護者の方に見られる姿

- ・自分の子どもだけでなく、よその子にもかかわっている姿や、抱っこして遊んでいる姿が見られる。
- ・おもちゃの取り合い等のトラブルも親同士が子どもに言い聞かせ、成長期を乗り越えさせる姿が見られるようになった。
- ・昨年度から実施している防災の取組により、防災についての関心が深まり、避難訓練の参加の仕方、心肺蘇生の体験に積極的であった。
- ・昼食を持参して、友達親子と食堂で食べる姿が見られ、子どもの生活時間を大切にする傾向になってきた。
- ・スタッフに気軽に相談できる親が多くなってきた。



私たちの支援が保護者の方の子育てにつながることを願っています。

ボランティア学生の声

子ども学科2年生 田村 実優



おまごとのコーナーで3人の子どもが集まっていました。包丁は2本しかなく、みんなが使いたいという思いがあり、どうするかなと見守っていると、一人の子がもう一人の子に「はい」と包丁を渡しました。お母さんはすかさずその子に「よくできたね、優しいね」と声をかけ頭をなでていました。あとで話を聞くと、その

子はこれまでお友だちにもものを貸すのがなかなかできなかったのだそうで、お母さん自身もとてもうれしそうにしていました。このようなことが積み重なって人を思いやる気持ちが育まれていくのだと感じ、私も保育の場でこのような小さな場面を見過ごすことなく声をかけていきたいと思いました。

子ども学科1年生 藤井 彩



新聞をビリビリにして遊ぶ活動をしました。最初は戸惑っていた子どももスタッフやお母さんが楽しそうにしていると、自分たちもやりたいという気持ちを持ったのか、私たちの真似をして一生懸命新聞を破ったり、人にかけてたりしている姿がとても印象的でした。

また、生後7カ月の赤ちゃんも2歳の子育てをしているお母さんからいろいろとお話を聞きました。赤ちゃんは毎晩夜泣きがあるそうですが、「赤ちゃんの笑顔を見たり、思い出しただけで眠気も忘れてしまう」と言っておられました。二人のお子さんの子育ては大変だと思いますが、お母さんからこのようなお話が聞けて、私も安心しました。

平成27年度 子育て応援隊

10月現在

No	実施月日	行事	内容	参加人数	依頼団体
1	7月4-5日	キッズおしごと広場	職業体験イベント運営スタッフ	49	三重県立みえこどもの城
2	7月5日	ファミリー教室	父と子のふれあい教室運営補助	19	つながりひろば交流会
3	7月11日	高田保育園夏まつり	夏まつり運営手伝い	14	高田保育園
4	7月12日	第60回三重県・第53回津市母親大会	乳幼児の保育	5	第60回三重県・第53回津市母親大会実行委員会
5	7月18日	ほうりん保育園夏祭り	夏祭り運営手伝い	5	ほうりん保育園
6	7月18日	しんまち夏まつり	バルーンアート制作	6	新町地区自治会連合会
7	7月21日	ほうりん保育園子育て支援活動「ハホバクラブ」	子育て支援	7	高岡ほうりん保育園
8	7月21日	高田幼稚園夏まつり	夏祭り運営手伝い・保育補助	15	高田幼稚園
9	7月25日	夏祭り	夏まつり運営手伝い	4	社会福祉法人志生会ハートピア保育園
10	7月25日	納涼大会	夏まつり運営手伝い	7	まつさか幼稚園
11	8月1日	さくら保育園 夏まつり	夏まつり運営手伝い	15	さくら保育園
12	8月2日	2015 Ene-1GP SUZUKA ブロックで車を作ろう!	子どもたちとブロック制作	9	鈴鹿サーキット
13	8月6日	ほうりん保育園子育て支援活動「ハホバクラブ」	おもちゃや絵本、わらべうたで子どもとあそぶ子育て支援活動	4	ほうりん保育園
14	8月8日	若葉保育園夏まつり会	夏まつり運営手伝い	6	若葉保育園
15	8月20日	ほうりん保育園子育て支援活動「ハホバクラブ」	おもちゃや絵本、わらべうたで子どもとあそぶ子育て支援活動	5	ほうりん保育園
16	8月22日	平成27年度社会教育実践交流広場「地域と関わる学生」	実践発表表と社会教育実践交流広場のブース発表	4	三重県教育委員会社会教育・文化財保護課
17	8月27日	ほうりん保育園子育て支援活動「ハホバクラブ」	おもちゃや絵本、わらべうたで子どもとあそぶ子育て支援活動	5	ほうりん保育園
18	8月28日	お兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぼう	子育て支援・保育補助	6	子育てサロン よりあい
19	8月29日	子育てママのホットとひろば	乳幼児の保育	8	育児文化研究センター
20	9月27日	交通安全フェスタ	バルーンアート制作	7	津ドライブインスクール
21	10月10日	白子幼稚園 運動会	園児の救護・演技準備補助	10	鈴鹿市立白子幼稚園

今年度も多くの学生が、子育て支援や子どもに関する行事など、さまざまな場で「子育て応援隊」としてボランティア活動をさせていただきました。



平成27年8月22日には、三重県総合文化センターで開催された「社会教育実践交流広場」の実践発表と交流会に参加しました。「子育て応援隊」の取り組みについて、パワーポイントを使用して活動報告を行ったり、ブースでの交流会において地域の方々にご説明したりして、「子育て応援隊」の存在を知っていただくよい機会となり、また三重県教育委員会からも表彰されました。



私は、津市健康福祉部子育て推進課に勤務しており、今年度から研究員として参加させていただくことになりました。また、子育て環境の改善を目的とした育児文化研究センターの事業を通じた地域への貢献には厚くお礼申し上げます。さて、今日の社会においては、未婚・晩婚及び晩産傾向の加速や子育てへの不安を主要因とした少子化が進行しており、本市においても例外なく長期展望に立って、継続的かつ総合的な少子化対策を推進する必要があります。特に子育て支援の充実が重要な要素の一つであることから、本年4月に施行された子ども子育て支援新制度のもと、安心して子供を生み育てられる環境の整備に向けた取組を推進してまいります。センターの皆様のご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。 鎌田 光昭

新入会
研究員の紹介



4月より育児文化研究センターにて、津市委託事業である「つながりひろば交流会」等の開催に伴う事務を担わせていただくことになりました。3人の子どもの母親として、地域の子育て支援のボランティアをするようになり、十年余りの月日が経ちました。子どもたちの笑顔があふれ、温かなつながりが広がってゆくことを願いながら、支援者の一人として津市の子育て支援が充実するよう努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。 大野 由佳

～前期センター会議～

- 前期センター会議が5月20日(水)に開催されました。
- 1.平成26年度事業報告と平成27年度事業計画について
 - 2.津市における子ども子育て支援施策について
 - 3.研究員紹介
 - 4.グループ研究案内
- (1)「子育て支援の現状と課題」
 (2)「子育て支援のひろばについて」
 (3)「子どもの基本的な生活習慣の発達基準と育児」
- 「津市における子ども子育て支援施策」では、鎌田光昭研究員により話題提供がなされ、多くの研究員より質問がなされ、活発な意見交換の時間となりました。また今年度は初めての会議ということもあり、22名それぞれが自己紹介を行い、自身の研究分野や研究活動の報告などを行いました。
- 後期センター会議は12月10日(木)を予定しています。



～第41回定例研究会～

第41回定例研究会が7月14日(火)に開催されました。本定例研究会では27年度より研究員それぞれの研究・専門分野からご報告いただき、研究員間での研鑽を深める会として運営をさせていただいております。今年度第1回目は、池村進研究員より「子どものための保育教材開発」、藤重育子研究員より「保育実習(施設)における学生の学びと指導のあり方」に関する研究発表がなされました。

第42回定例研究会は11月4日(水)、第43回定例研究会は平成28年2月18日(木)を予定しています。



津市委託事業

津市ひろば関係者交流会事業(つながりひろば)

津市内の子育て支援の関係者、関係機関がネットワークを広げ、連携を深めるための取組を実施しています。

第1回 5月28日(木)18:30~20:30 津市げいのうわんぱーく
「子育てしやすい環境づくり~津市の新施設げいのうわんぱーくの紹介~」

「新施設での取り組み~多年齢の子どもの交流~」
「多年齢の子どもの交流の展望と課題」

第2回 8月27日(木)18:00~20:00 あの子育て支援センター
「地域と連携した子育て支援~世代を超えてつながろう~」

「それぞれの地域における課題と支援者さんとの連携の取り方」

第3回 11月5日(木) 桜橋子育て支援センター

「津市子ども・子育て支援制度における子育て支援について」

「桜橋子育て支援センター事業内容と特色」

第4回 2月開催予定 津市児童発達支援センター「つうぼっぼ」



津市子育て支援者事業

子育て支援者を対象に、「親子のかかわり支援」「親支援の援助技術」についての研修会を企画、実施しています。

第1回支援者研修会 7月23日(木)18:30~20:30
高田短期大学

テーマ:「特定妊婦への関りと虐待を予防するために」
講師:柳瀬幸子

第2回支援者研修会 1月開催予定 高田短期大学
テーマ:「気になる親子とのかかわり支援(仮)」



子育てママの「ホッと」ひろば事業

子育て中のお母さん同士が、日ごろ思っていることを何でも話せる集まりです。臨床心理士の先生のサポートを通して実施しています。

第1回 8月26日(水)

第2回 11月21日(土)

第3回 2月24日(水)

いずれも10:00~12:00、高田短期大学

講師:橋本景子



津市親支援事業

お母さん、お父さんを対象に、「子どもとの愛着形成、お母さんのリラクゼーション」についての研修会を企画、実施しています。

前期ファミリー教室 7月5日(日)10:00~12:00
高田短期大学

後期ファミリー教室 11月1日(日)10:00~11:30
久居総合福祉会館

父親コース「遊ぼう お父さん!親子で育もう
体の力」 講師:柳瀬慶子

母親コース「ゆったり語ろう、つながろう!」
講師:青木信子



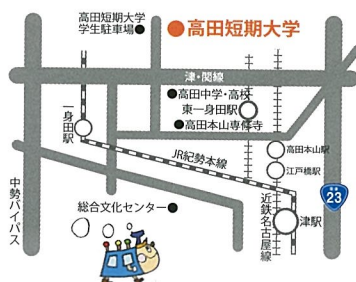
地域への子育て支援の事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の「子育て相談」を予約制で行っています。担当は本学子ども学科教員です。詳しくはホームページをご覧ください。

相談内容	担当者	平成27年度基本相談日
発達相談	千草篤磨	第2木曜日①10時②11時
子どもの食	鷺見裕子	第3木曜日①13時②14時
子どもの健康	長倉里加	第2月曜日①12時半②13時半
子育て・教育	青木信子	第4金曜日①10時②11時

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学
育児文化研究センター

〒514-0115
三重県津市一身田豊野195
TEL. (059) 253-7020 (センター直通)
(059) 232-2310 (代表)
FAX. (059) 232-6317
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



今年度育児文化研究センター委員・スタッフのメンバーです。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。